

たり座り込んで闘っていることや、大浦湾に棲むジュゴンやサンゴの美しい自然環境についてプロジェクトを使って語り、政府の無法な工事は成功しないと、その根拠を具体的に示しました。

## 県平和委総会 “次世代を育てる” の新方針などを決める

石川県平和委員会は、5月19日に金沢市近江町交流プラザで「第52回総会」を開き、16人が出席して提案された諸議案を原案通り承認しました。

日谷守代表理事が「憲法・安保・反核運動を推進してきた。討論を深めて確信を持てるものに」と開会あいさつ。内藤晴一郎さんを議長に選出し、柴原和美事務局長が、①2017年度のまとめ。②2018年度の活動方針案。③山野健治代表理事が決算・会計監査



総会では10人が発言し、方針案を補強

最後に、「11月の県知事選挙を勝利し新基地を作らせない」。「内閣支持率が30%台まで落ち込んでいる安倍政権を一緒につぶそう」と訴え、共感が広がりました。

報告。予算案をそれぞれ提案しました。

総会に駆けつけた中央の岩月事務局次長を交え、10人が議案を補強する立場で発言。それらを受けて柴原事務局長が「まとめ」を行いました。最後に、「安倍内閣の退陣を求める決議」を全員の拍手で採択し、納口清隆代表理事が「自ら決めた方針を実践しよう」と呼びかけて終わりました。

### ～総会で承認された主な役員～

■代表理事=日谷守、納口清隆、山野健治(全国理事、組織・財政担当)。  
■常任理事=佐藤公男、柴原和美(全国理事)、末友雅子(機関紙担当)、内藤晴一郎、藤田克彦、舛田辰男。■理事=12人は略。(1人が交替)。△事務局長=柴原和美(新設した「次世代育成」担当)。△同次長=内藤晴一郎(組織担当)、藤田克彦(機関紙担当)。

柴原和美事務局長がまとめた「小松基地問題と谷本県政」をシリーズとしてお届けします。1回目は「小松基地に関わる最近の変化」です。

### I、新たな部隊の配備

2016年6月、飛行教導群=最新の戦闘技術の研究と全国の航空自衛隊の戦闘機部隊に対して最新の戦闘技術を教えることを任務とする技能の高いパイロットで構成される部隊=(戦闘機8機と練習機2機)が宮崎県の新田原基地から小松基地へ移駐しました。その結果、小松基地のF15戦闘機は1・2倍の約50機となりました。石川県沖の日本海には国内最大の広さを持つ自衛隊訓練空域G空域=東は佐渡島の西方から西は鳥取県沖までの広大な自衛隊の訓練空域で、ミサイルの実射訓練も可能=があることから、小松基地を移駐先に選んだと防衛省は説明しています。

II、戦闘機を入れるシェルターの新設  
2016年2月、小松基地の南西部に、空からの爆弾やミサイルによる攻撃から戦闘機を守る防弾格納庫(えん体=シェルター)が完成し、小松基地の北東部地区から303飛行隊が移動しました。これまで303飛行隊が使用していた格納庫は、小松基地に移駐した飛行教導群が使用しています。

III、新しいえん体地区に弾薬庫増設  
2016年3月、新たに整備された小松基地の南西部のえん体地区に、戦闘機に搭載するミサイルなど最大3トンの保管が可能な弾薬庫を増設しました。新たな弾薬庫から約230mの場所に小学校や保育園があります。防衛省は、法的に問題ないとしていますが、住民からは事故への不安の声が出ています。

### IV、県民の見えないところでの変化

航空自衛隊がF15戦闘機を導入してから30年~40年が経過します。航空自衛隊では、継続して使用するためのF15戦闘機の近代化改修をすすめています。小松基地の306飛行隊には他の基地に先がけ多くの近代化改修機や統合電子装置搭載機が配備されています=最新レーダーに更新し最新の国産ミサイル搭載可能に。ヘッドマウントディスプレイ運用可能に。戦術データ交換システム(味方が捉えた情報をディスプレイに表示でき、米軍機とデータリンクも可能に)などです。

更に統合電子戦装置搭載機には、これらに加えて電波妨害対処機能(敵のミサイル等の電波妨害や敵ミサイルから逃れるためのチャフ=レーダーをかく乱させるアルミ箔等金属状のものや、フレア=エンジンが発する赤外線を追尾するミサイルを惑わせる火炎等の熱線射出する装置)を付加=。

そして、救難捜索機と救難ヘリコプターの戦闘地域での救難活動を想定した変化。救難捜索機と救難ヘリの塗装を海上で視認されにくく濃紺に変更。救難捜索機と救難ヘリに敵のレーダーやミサイルを警戒する装置を装備。救難ヘリに空中給油装置を装備。救難ヘリに敵のレーダーをかく乱させるチャフ射出装置。救難ヘリに敵のミサイル追尾から逃れるためのフレア射出装置を装備。救難ヘリに5.56mm機銃装着。

次号は「米軍と一体化を目指す日米共同訓練」。

## ニュース・フラッシュ

3月31日 映画「憲法を武器にして」の上映会(2回)と内藤弁護士の講演を21世紀美術館B1で行いました

4月3日 金沢・エムザ前で憲法会議が「3000万人統一署名」

6日 6・9署名行動

16日 沖縄連帯街頭宣伝をエムザ前で行いました

18日 安倍9条改憲NO!なんぶアクション市民パレード

19日 「安倍改憲NO!市民アクションいしかわ」が、四高記念公園入口で署名

21~22日 全国理事会

28日 「『4・28屈辱の日』沖縄連帯集会」を労済会館で行いました

5月1日 第89回メーデー石川県集会

2日 “安倍政権退陣!怒りの昼デモ

3日 「平和憲法施行71周年記念石川県民集会」が金沢歌劇座で開催され、同志社大学の浜矩子教授が講演。その後、1200人でデモ行進



大滝和康さん提供

9日 6・9行動

14日 小松基地爆音訴訟で軍事評論家の前田哲男氏が証言

15日 沖縄連帯街頭宣伝に5人が参加

16日 昼デモ

19日 石川県平和委員会「第52回総会」を金沢・近江町交流プラザで開催

21日 小松爆音訴訟公判

27日 平和の旅「731部隊・金沢遁走の新事実と足跡を訪ねる」に19人参加

5月28日 小松基地騒音測定が実施され、県平和委員会は小松市民センターテニスコート横を担当(6月1日まで)

6月6日 6・9行動

9日 大阪・八尾市人権擁護委員会のグループを山野さんが平和ガイドしました

9日 「望月衣塑子さん講演会」(戦争をさせない石川の会)が金沢歌劇座で開かれました

10日 「国民平和大行進」能登コースが輪島をスタート

13日 昼デモ